

私たちのEPA受け入れ ともに働き、ともに学び、ともに笑う



奈良東病院グループ公式キャラクター

奈良東病院グループ
竹之内さゆり

奈良東病院グループの紹介

奈良東病院

所在地 奈良県天理市中之庄町

アクセス

西名阪 天理インターから車で10分

奈良公園から車で13分



奈良東病院

奈良東病院は、医療と介護の両面から地域の暮らしを支える、地域密着型の多機能病院です。



■ 医療保険病棟（全162床）

地域包括ケア病棟 44床

回復期リハビリテーション病棟 40床

障害者施設等病棟 36床

医療療養型病棟 42床

■ 介護医療院（全88床）

ならひがしが目指すのは、

奈良県一、
「面倒見のいいグループ」

お互いさま、おかげさまの心で
地域をしっかりと支えることを大切にしています。



医療と介護をひとところに



奈良東病院を中心に 施設や在宅サービスを運営

このエリアだけで
1000人近い人が入居や
在宅サービスを利用



奈良東病院グループ 施設・事業所一覧



奈良東病院	
奈良東病院 介護医療院	
介護老人保健施設 ならふくじゅ荘	
グループホーム	ふれあい天理
	ふれあい秋篠
	ふれあい東九条
	ふれあい広陵
	ふれあい檀原
	なら清寿苑
	ふれあい郡山
	ふれあい斑鳩
	ふれあいの里 京田辺
特別養護 老人ホーム	清寿苑
	なら清寿苑
ケアハウス	ふる里
	清寿苑
	なら清寿苑

9か所

介護付有料 老人ホーム	やまと
	エバーライフ
	エバーライフ香芝
	エバーライフ御殿山
	エバーライフ加島
サービス付き高齢者向け住宅エバーライフ西大寺	
訪問看護ステーション	ひまわりⅡ
	ひまわり奈良
	ひまわり北之庄
	ひまわり秋篠
	ひまわり生駒
	ひまわり香芝
	いずみ
	エバーライフ
	ライフエール天理
	ライフエール奈良
ひまわり斑鳩	

8か所

小規模多機能型 居宅介護	ふれあいの里 京田辺
	ふれあい郡山
介護老人保健施設 ならふくじゅ荘デイケア	
リハビリデイサービスセンターひまわり奈良	
デイサービスセンター	いずみ
	ひまわり加島
	清寿苑
	ひまわり郡山
ケアプランセンター	ひまわり斑鳩
	清寿苑
	ひまわり奈良
	いずみ
ひまわり斑鳩	
天理市北部地域包括支援センター	
たけのこ保育園	
HILS(日本語学校)	
奈良介護福祉中央学院(介護福祉士養成校)	

奈良県天理市だけではなく奈良県内、京都府、大阪府で事業を展開

EPA看護師候補者受け入れ実績

2009年2月

初めてインドネシア人の男性2名を受け入れ

現在までに**合計20名**を受け入れ

■インドネシア 2名

■ベトナム 18名



EPA看護師受け入れ実績

人員構成

在籍者	13名
離職者	7名
合計	20名

2026年2月末時点

退職理由

- 不合格にて帰国
- 資格取得し就労後に帰国
- 国内で転職

就労状況

就労期間	人数	在籍者	離職者
0年	2	2	
1~3年	11	5	6
4~6年	4	3	1
7~9年	2	2	
9~12年	1	1	
合計	20	13	7



EPA看護師受け入れ実績

看護師国家試験 受験状況

合格者	11名	合格率68%
不合格者	5名	うち2名は介護職員に変更 介護福祉士1名 特定技能1名
受験済 結果待ち	4名	受験者：在籍0年 2名 在籍2年 2名



受け入れ準備（就業）

■ 指導者の決定

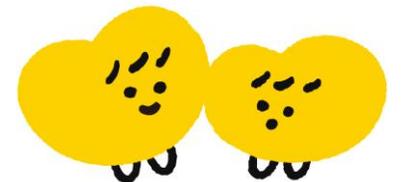
指導者は介護士から選出

ラダーレベル3以上、プリセプター経験あり

■ 介護業務習得に向けた指導計画書の準備

年間・月間・週間指導計画書、振り返りシート

介護職ラダー用紙の準備



受け入れ準備（学習）

- 国家試験合格に向けた支援準備

学習年間計画・研修計画（月間日程表）

学習計画書

- 国家試験対策として外部講師による講義開催・受講

のためスケジュール調整



就労後の関わり方（業務について）

■ 介護職員として就業

指導計画に沿って指導者（介護士）とともに就業する

■ 看護師とケア介入する場合

褥瘡処置やケア内容について、看護の視点で指導を受けられるように配慮（医療ケアは見学のみ）



就労後の関わり方（面談・支援について）

- 年間3回の定期面談 4月、9月、3月
- 指導計画に沿って必要時に面談を実施
- 外国人交流会への参加

アクティビティ：お花見、もちつき大会、かるた、伝言ゲーム

研修：電話対応の仕方、正しいオムツ交換の仕方



国家試験合格に向けた学習支援

■ 就業開始月～

毎月48時間(6日)の就業は研修扱い

外部講師による講義開催・受講

講師:A先生(医師) 毎週土曜日 ZOOM講義

B先生(元看護学校校長) 毎月1～2日 対面授業



国家試験合格に向けた学習支援



■ 11月～

研修時間 1か月64時間(8日) ※6日→8日へ

■ 国家試験1か月前～

業務には入らず、全て研修扱いで学習期間

講義日以外は自己学習

国試直前は、ほぼ過去問を実施

※自己学習日は、終業時間に所属長へ学習内容を報告
わからない箇所を確認、指導

看護師資格取得後の指導、サポート体制



■ プリセプターの選出

傾聴ができ、ともに学ぶ姿勢がとれる者

困ったときに何でも相談できる存在となれる者

■ 看護師新人指導計画に沿って指導を実施

研修内容、振り返りシート、ラダー評価などを活用

※基本的には日本人と同じ内容で指導するが個々の能力
や日本語能力に応じて計画を修正

看護師資格取得後の指導、サポート体制



- 指導の進捗状況を伝達・共有する指導者用ノートの活用
- チームで育成する意識をもたせる
- 指導状況や本人の表情など変化があれば面談実施

国家試験合格後の指導におけるホンネ

あくまでも私たちの感覚です

国家試験に1回目で合格する者より、国家試験2～3回目で合格した者の方が知識や技術の習得が早いイメージ

合格者11名の受験回数	
回数	人数
1回目で合格	3
2回目で合格	4
3回目で合格	4



国家試験合格後の指導におけるホンネ

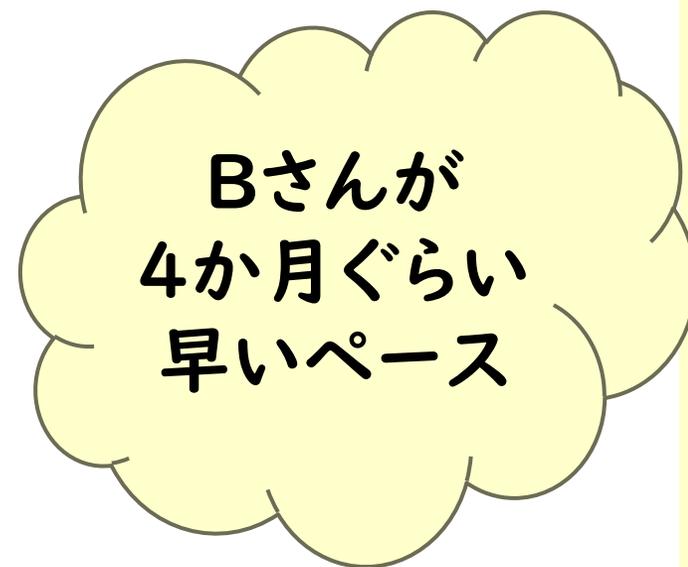
国家試験に2～3回目で合格した者

- 在職期間が長いいため職場のルールや業務内容を把握している
- 職場での信頼関係が構築されている
- 在日期間が長いいため日本語能力、コミュニケーション能力があがっている



国家試験合格後の指導におけるホンネ

	Aさん	Bさん
受験年	2023年	2025年
受験回数	1回	3回
日・祝出勤	12か月	8か月
遅出業務	1年3か月	10か月で 指導開始中



環境への適応、コミュニケーションのサポートが重要



対応に苦慮したこと



■ コミュニケーション

理解できていないのに、「はい」と返事や頷く

→理解した内容を話してもらい確認している

■ 家族対応の指導

看護師資格の取得後、家族への説明や電話対応が課題

特に電話対応は本人の不安、プレッシャーが大きい

受け入れのメリット



- 異文化・多様な価値観があることで基準の標準化と明確化、教育体制の見直しの機会となる
- コミュニケーション支援が重要となるため、日本人職員の「伝える力」「教える力」が向上
- 外国人の勉学に励む姿勢が、日本人の働く・学ぶ姿勢に影響を与える

受け入れのメリット

- 多文化交流の機会が増える
- 病院ブランド・社会的評価の向上
- 人材不足への対応

(紹介会社への依存軽減)



ともに働く大切な仲間



職場の先輩と一緒に



在日ベトナム大使館主催
日本におけるベトナム人労働者の日



フォンさん受賞おめでとう 🥰

ベトナムの自宅で食事会



フェンさん



一時帰国時の送別会



こんなに大きくなりました
妹もできてお兄ちゃんです



EPAを受け入れること

最初は、受け入れる側、受け入れられる側も
共に大変で戸惑うことも多いかもしれない
でもその分、得られるものも多い



ご清聴ありがとうございました



EPAに参加して私が思うこと

奈良東病院
チャンティフォン

EPAプログラムに応募した理由

- 日本で看護師として働くことを目指して、EPAプログラムに応募した
- 日本のEPAプログラムには、資格を取得するまで様々な学習支援プログラムがあること
- 資格取得後は、更新することにより日本で長く働けるシステムがあること

来日前の気持ち、不安に感じていたこと

- 日本語は本当にできるようになるのか
- 国家試験に合格できるのか
- 外国人である自分が日本の医療現場で働いていけるのか
- 日本語能力試験のプレッシャー

EPAプログラムのメリット(入国前・就業前)

- 教育・研修環境が整っている。
- ベトナム人の先生、日本人の先生の専門性が高い。
- 日本の文化や社会、医療現場についても学ぶことができ、
国家試験に向けた支援を受けられた。
- 研修期間中、学費や生活費の心配がなく学習に集中できた。

来日直後に感じたこと

- 日本語が十分に理解できず、特に医療用語や職場での会話に大きな難しさを感じた。
- 介護職として働き、日常生活介助(排泄、入浴、食事)について経験がなく大変だった。

仕事と学習を両立すること

- 仕事をしながら勉強することは想像以上に大変で、精神的なプレッシャーも大きく、「自分には向いていないのではないか」と思うことがあった。
- 「ここで諦めたら、今までの努力がもったいない」と自分に言い聞かせ、毎日少しずつでも学習することを続けた。

国家試験合格後に感じたこと

- ベトナムと日本では看護業務や文化が大きく異なり、習得するのに時間を要した。
- 専門用語や記録の書き方が難しく、医師や同僚とのコミュニケーションに不安があった。
- 患者や家族の対応が難しかった。

国家試験合格後に感じたこと

- 介護職経験のおかげで国家試験に合格後は業務に慣れていた為、専門の学習に集中でき患者さん、職員とのコミュニケーションの負担も軽減された。
- 分からないことをそのままにせず、何度も確認することの大切さを強く感じた。
- 「諦めたい」「辞めたい」と感じた時には、応援や相談、アドバイスをしていただき、大きな支えになった。

看護師としての気持ちの変化

看護師としての仕事の相手は「人」です。

仕事の中でミスやインシデントを起こし、患者さんに影響を与えてしまった時、「自分は看護師として向いていないのではないか」「もう辞めたい」と深く落ち込み、何もしたくなくなる日もありました。

しかし、時間が経ち、少し冷静になると、「今諦めたら、何も残らない」と思い直し、できなかったことを振り返り、どうすれば改善できるか、より良い看護師になれるかを考えるようになりました。

職場で私が特に心がけていること

- 分からないことをそのままにしないこと
- 自分から積極的にコミュニケーションを図ること
- 日本人スタッフとの信頼関係を大切にすること

生活・家族について

- 国家試験に合格したとき、「やっとできた」「これで家族を日本に呼ぶことができる」と思った
- 資格を取得できたことで、将来にわたって日本で安定して働く道が開かれると感じた。
- 病院から在留カードの更新や各種手続きについて丁寧なサポートをしてもらった。

子育てについて

- グループ内に保育所があり、子供を安心して預けることができた。
- 子供が体調不良の時も休みを調整できる環境が整っている。
- 勤務形態（夜勤、遅出など）に合わせて保育時間を調整して預けられる環境にある。

EPAに参加する目的は人それぞれに異なる

「日本で働く経験をしたい」「国家試験に合格することが目標」という方にとって、一番大きなプレッシャーは日本語や試験そのものかもしれない。

私は日本で長く働きたい、ここで生活したい、子供を教育してもらいたい、職場や社会の一員として存在し続けたいと考えている。

定着に向けて

仕事だけでなく、家族と日本で生活する中で、地域や学校との関わりも大切にしている。

看護師として、母として、外国人として、無理をしすぎず長く働き続けられる形を意識することが、職場定着につながると感じている。

ありがとうございました。

